

## 沖縄県議会のあゆみ



沖縄県庁舎〔議会棟〕

### はじめに

沖縄県は、1879（M 12）年の廃藩置県により日本の一県となりました。しかしながら、議会制については、他都道府県より30年も遅れた1909（M 42）年に「沖縄県会」が初めて創設されました。

以来、復帰50年に当たる2022（R 4）年で満113年になります。その間の沖縄県議会のあゆみは、制度的にも「府県制」「米国民政府布告・布令」「地方自治法」等による議会制が適用されるなど、他都道府県に例がない変遷を重ねてきました。

復帰後、沖縄県の経済社会は、5次にわたる沖縄振興計画の「本土との格差是正」と「自立型経済の構築」の取り組みの中、沖縄都市モノレールの開設などに見る社会資本整備の確かな拡充、堅調に推移する入域観光客数と観光産業の目覚ましい進展などがありました。近年は、世界的に猛威を振るう新型コロナウイルス感染症が、社会全体に大きな打撃を与え続けており、現在、沖縄県は、従来の活況を少しずつ取り戻しながら、さらなる飛躍を目指して新たなステージに立っています。

このような中、沖縄県議会は、県の議決機関として県民の負託に応えるべく、2012（H 24）年に「沖縄県議会基本条例」を制定するなど、その機能の行使に全力を挙げてきました。沖縄県議会において復帰後に対処した予算・条例・意見書等は、9,052件に達し、そのうち1,134件は関係省庁等に要請するための意見書（708件）及び決議（426件）となっています。

沖縄県議会は、復帰50年を迎えた本年、「沖縄の諸課題を解決し、真に平和で豊かな沖縄県を目指す本土復帰50年に関する意見書及び決議」を全会一致で可決しました。全国平均の約7割に低迷する県民所得、事件・事故が相次ぐ米軍基地問題など多くの課題解決のため、これからも全力を尽くす所存です。

### 1 沖縄県議会の移り変わり

沖縄県議会の移り変わりは、大きく分けて3段階に区分されます。

- 沖縄県会創立（1909（M 42）年6月）から太平洋戦争終了前日（1945（S 20）年8月14日）まで
  - 終戦から本土復帰前日（1972（S 47）年5月14日）まで
  - 本土復帰（1972（S 47）年5月15日）以降
- 沖縄県の議会制は、他都道府県より30年も遅れ、1909（M 42）年4月「沖縄県二関スル府県制特例ノ件」（明治42年勅令第20号）によって、「沖縄県会」が創設されました。第1回の県会議員選挙は、同年5月に執行され、以来、戦争中の1942（S 17）年4月まで県会議員選挙は9回行われました。
- 終戦後、米軍占領下の沖縄群島においては、戦時中の議員からなる「沖縄議会」が1946（S 21）年4月26日に設置

されましたが、1949（S 24）年10月19日に解散され、新たに「沖縄民政議会」が設置されました。これらは、知事の諮問機関としての性格しか与えられず、議会本来の権能は大幅に抑制されていました。一方、宮古、八重山、奄美大島の各群島においても沖縄群島とほぼ同様な議会が設置されました。

1952（S 27）年4月1日、各群島政府を一つにまとめた琉球政府が誕生し、立法機関として「立法院」が置かれました。立法院は、琉球政府の立法機関として、復帰までの約20年間にわたり、米国民政府の布告・布令の制約下でありながらも、県代表としての立場から、立法活動を通して自治権の拡大と県民福祉の向上等に努めてきました。

本土復帰の1972（S 47）年5月15日、立法院は、日本国憲法と地方自治法に基づく「沖縄県議会」へ変わりました。新生沖縄県の初の県議会議員選挙は、同年6月25日に執行され、44人の議員が選出されました。以来、現在まで13回の県議会議員選挙が行われ、現在の議員定数は48人となっています。

こうして、1909（M 42）年に初めて創設された沖縄県会以来、何度か移り変わってきた議会制度も、復帰により改めて他都道府県と同じとなり、沖縄県議会として現在に至っています。

## 2 沖縄県議会の組織等

### (1) 沖縄県議会議員の変遷

沖縄県は、1972（S 47）年5月15日に日本国憲法の下で、地方自治法に定める県となり、また、議会にあっては、「立法院」から「沖縄県議会」へと移行しました。

沖縄県議会の議員の選挙は、「沖縄の復帰に伴う特別措置に関する法律」の施行の日から起算して50日を超えない範囲内で行うことになり、その間は、従来の立法院議員の職にある者が沖縄県議会議員としてみなされることになりました。

復帰後初めての県議会議員の選挙は、県知事選挙と同時に1972（S 47）年6月25日に執行され、44人の議員が誕生しました。

その後、人口の増加に伴い定数条例が改正され、議員定数は1976（S 51）年6月13日には46人になり、そして、1984（S 59）年6月10日には47人になりました。さらにその後、1985（S 60）年の国勢調査に基づいて割り出された議員の法定数は48人になりましたが、昭和62年第6回沖縄県議会（臨時会）において「沖縄県議会議員の定数を減少する条例」を可決し、議員定数を47人に減じました。その後も本県の人口は増加し続け、1990（H 2）年の国勢調査における議員の法定数は49人になりましたが、平成3年第6回沖縄県議会（定例会）においても「沖縄県議会議員の定数を減少する条例」を可決し、議員定数を48人に減じました。

さらに、2000（H 12）年の地方自治法改正により、都道府

県議会の議員の定数は条例で定めることとなったことから、平成15年第4回沖縄県議会（定例会）において、議員定数を48人と定めた「沖縄県議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例」を可決し、2004（H 16）年6月6日執行の一般選挙以降、議員定数は48人となっています。

また、従来の都道府県議会議員の選挙区は、公職選挙法の規定により都市の区域によることとされていましたが、2013（H 25）年の同法改正により、1つの市の区域、1つの市と隣接する町村を合わせた区域又は、隣接する町村を合わせた区域のいずれかによることを基本とし、条例で定めることとされました。そこで、地域の情勢及び要望を踏まえ、平成27年第2回沖縄県議会（定例会）において、従来の「那覇市区」「島尻郡区」及び「南城市区」の3つの選挙区を変更し、島尻郡区の南部離島7町村と那覇市を合わせて「那覇市・南部離島選挙区」とし、与那原町、南風原町、八重瀬町と南城市を合わせて「島尻・南城市選挙区」とする「沖縄県議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例」を可決し、2016（H 28）年6月5日執行の一般選挙以降、現在の各選挙区となっています。

### 選挙区図と定数

2016（H 28）年県議会議員一般選挙以降

沖縄県議会議員選挙区別地図

平成27年条例第44号

選挙区	定数	選挙区	定数
名護市	2人	那覇市・南部離島	11人
うるま市	4人	島尻・南城市	4人
沖縄市	5人	宮古島市(宮古郡を含む。)	2人
宜野湾市	3人	石垣市(八重山郡を含む。)	2人
浦添市	4人	国頭郡(伊平屋村及び伊是名村を含む。)	2人
豊見城市	2人	中頭郡	5人
糸満市	2人	合 計	48人





県議会議員の選挙区別改選状況

※会派は任期中最終、失職時、辞職時、または逝去時の所属会派である（第13期を除く）。

当選議員一覧(みなし議員～第13期)

沖縄県の復帰に伴う特別措置に関する法律の規定による議員

(任期:自昭和47年5月15日 至昭和47年6月24日)

選挙区	氏名	会派	選挙区	氏名	会派	選挙区	氏名	会派
1	宮里 松次	自民党	12	崎浜 盛永	社会党	23	大田 昌知	自民党
2	宮城 善兵	自民党	13	平良 幸市	社大党	24	長嶺 秋夫	自民党
3	吉田 光正	無所属	14	岸本 利実	社会党	25	上原 重蔵	自民党
4	渡久地 政仁	自民党	15	与座 康信	社大党	26	大城 真順	自民党
5	比嘉 松栄	自民党	16	仲松 庸全	人民党	27	新垣 孝善	社大党
6	伊芸 徳一	自民党	17	森田 孟松	社大党	28	盛島 明秀	自民党
7	小渡 三郎	自民党	18	嵩原 久男	社大党	29	金城 英浩	自民党
8	中山 兼順	自民党	19	古堅 実吉	人民党	30	垣花 恵昌	自民党
9	平良 一男	自民党	20	伊良波 長幸	自民党	31	大濱 国浩	自民党
10	知花 英夫	社大党	21	上江洲 安健	自民党	32	星 克	自民党
11	桑江 朝幸	自民党	22	安里 政芳	社大党			

第1回選出

(選挙日:昭和47年6月25日 任期:自昭和47年6月25日 至昭和51年6月24日)

選挙区	氏名	会派	選挙区	氏名	会派	選挙区	氏名	会派
名護市	比嘉 松栄	自由民主党	那覇市	平良 哲	自由民主党	石垣市	小底 貫一	自由民主党
	岸本 安神	沖縄社会大衆党		上江洲 安健	自由民主党		宮良 長義	沖縄社会大衆党
具志川市	中山 兼順	自由民主党		森田 孟松	沖縄社会大衆党	国頭郡	渡久地 政仁	自由民主党
	久高 将憲	日本共産党		嵩原 久男	沖縄社会大衆党		小橋川 朝蔵	自由民主党
沖縄市	西田 文光	自由民主党		伊波 広定	日本共産党	中頭郡	吉田 光正	革新クラブ
	小渡 三郎	自由民主党		仲松 庸全	日本共産党		村山 盛信	自由民主党
	島田 哲男	沖縄社会大衆党		古堅 実吉	日本共産党		平良 一男	自由民主党
	中根 章	日本社会党		岸本 忠三郎	日本社会党		平良 幸市(辞職1)	沖縄社会大衆党
宜野湾市	志村 恵	自由民主党		友利 栄吉	革新クラブ	島尻郡	知花 英夫	沖縄社会大衆党
	岸本 利実	日本社会党		安里 政芳	民社党		崎浜 盛永	日本社会党
浦添市	与座 康信	沖縄社会大衆党	上原 重蔵	自由民主党	大田 昌知		自由民主党	
	比嘉 昇	自由民主党	上原 亀一郎	日本共産党	大城 真順		自由民主党	
那覇市	新垣 淑重	自由民主党	金城 英浩	自由民主党	瑞慶覧 長方	沖縄社会大衆党		
	赤嶺 慎英	自由民主党	盛島 明秀	自由民主党	親川 仁助	日本共産党		
	翁長 助裕	自由民主党	与那覇 寛長	沖縄社会大衆党				

※辞職1:昭和51年5月18日辞職

第2回選出

(選挙日:昭和51年6月13日 任期:自昭和51年6月25日 至昭和55年6月24日)

選挙区	氏名	会派	選挙区	氏名	会派	選挙区	氏名	会派
名護市	我喜屋 宗重	自由民主党	那覇市	新垣 淑重	自由民主党	国頭郡	小橋川 朝蔵	自由民主党
	岸本 安神	社会大衆党		翁長 助裕(辞職3)	県政会		渡久地 政仁	自由民主党
具志川市	新垣 幸蒲	自由民主党		嵩原 久男	社会大衆党	中頭郡	吉田 光正	革新クラブ
	田場 盛徳	社会党		仲本 安一	社会大衆党		瀬良垣 守正	自由民主党
沖縄市	照屋 忠英	自由民主党		岸本 忠三郎	社会党	島尻郡	村山 盛信	自由民主党
	小渡 三郎(辞職3)	自由民主党		伊波 広定	共産党		平良 一男	自由民主党
	島田 哲男	社会大衆党		古堅 実吉	共産党		城間 盛栄	社会大衆党
	中根 章	社会党		赤嶺 幸信	公明党		知花 英夫(辞職2)	社会大衆党
宜野湾市	志村 恵	自由民主党		友利 栄吉	公明党	石垣市	崎浜 盛永	社会党
	友寄 信助	社会党		上江洲 トシ	革新クラブ		大城 真順(辞職3)	自由民主党
浦添市	比嘉 昇	自由民主党	照屋 政太郎	自由民主党	大田 昌知		無所属	
	与座 康信	社会大衆党	上原 亀一郎	共産党	瑞慶覧 長方		社会大衆党	
那覇市	宮城 健一	社会党	盛島 明秀(辞職1)	自由民主党	親川 仁助	共産党		
	新城 哲男	自由民主党	与那覇 寛長	社会大衆党	金城 宏	自由民主党		
	仲村 正治	自由民主党	石垣 喜興	自由民主党				
	平良 哲	自由民主党	富良 長義	社会大衆党				

補欠選挙 昭和53年12月10日		
平良市	砂川 武雄	自由民主党

※辞職1:昭和53年7月12日辞職 ※辞職2:昭和53年11月15日辞職 ※辞職3:昭和54年9月17日辞職

第3回選出

(選挙日:昭和55年6月8日 任期:自昭和55年6月25日 至昭和59年6月24日)

選挙区	氏名	会派	選挙区	氏名	会派	選挙区	氏名	会派
名護市	嘉数 知賢	自由民主党	那覇市	平良 哲	自由民主党	国頭郡	小橋川 朝蔵	自由民主党
	岸本 安神	社会大衆党		前田 武行	社会大衆党		渡久地 政仁	自由民主党
具志川市	新垣 幸蒲	自由民主党		岸本 忠三郎(失職)	社会党		吉田 光正	革新クラブ
	田場 盛徳	社会党		伊波 広定	共産党	瀬良垣 守正	自由民主党	
沖縄市	西田 健次郎	自由民主党		石川 盛良	共産党	中頭郡	村山 盛信	自由民主党
	照屋 忠英	自由民主党		古堅 実吉	共産党		平良 一男	自由民主党
	仲原 英典	社会大衆党		赤嶺 幸信	公明党		新垣 秀吉	社会大衆党
	中根 章	社会党		安里 政芳	民政クラブ		城間 盛栄	社会大衆党
宜野湾市	志村 恵	自由民主党		上江洲 トシ	革新クラブ	島尻郡	崎浜 盛永	社会党
	友寄 信助	社会党		儀間 光男	自由民主党		伊集 盛元	自由民主党
浦添市	与座 康信	社会大衆党	上原 亀一郎	共産党	金城 宏	自由民主党		
	渡名喜 藤子	民政クラブ	砂川 武雄	自由民主党	大田 昌知	自由民主党		
	崎浜 秀三	自由民主党	池村 正義	社会大衆党	与那覇 光雄	社会党		
那覇市	桑江 良達	自由民主党	糸満市	伊良皆 高吉	自由民主党	外間 盛善	無所属	
	仲村 正治(辞職1)	自由民主党		本盛 茂	社会大衆党			

更正当選 昭和57年11月17日		
那覇市	我那覇 祥義	自由民主党

※失職:当選無効の判決が昭和57年11月12日に確定し、同議員が失職  
※辞職1:昭和58年12月3日辞職

第4回選出

(選挙日:昭和59年6月10日 任期:自昭和59年6月25日 至昭和63年6月24日)

選挙区	氏名	会派	選挙区	氏名	会派	選挙区	氏名	会派
名護市	嘉数 知賢	自由民主党	那覇市	金城 重正	自由民主党	国頭郡	我喜屋 宗重	自由民主党
	岸本 安神	社会大衆党		我那覇 祥義	自由民主党		小橋川 朝蔵	自由民主党
石川市	石川 修	社会大衆党		桑江 良達	自由民主党		中頭郡	吉田 光正
	具志川市	瑞慶山 良昌		自由民主党	平良 哲	自由民主党		城間 勇吉
田場 盛徳		社会党		平良 清安(辞職1)	社会大衆党	村山 盛信		自由民主党
沖縄市	西田 健次郎	自由民主党		島袋 宗康	社会大衆党	島尻郡		平良 一男
	照屋 忠英	自由民主党		岸本 忠三郎	社会党		城間 盛栄	社会大衆党
	仲原 英典	社会大衆党		伊波 広定	共産党		崎浜 盛永	社会党
	嘉陽 宗儀	共産党		古堅 実吉	共産党		伊集 盛元	自由民主党
宜野湾市	志村 恵	自由民主党		白保 台一	公明党	宮古郡	外間 盛善	自由民主党
	友寄 信助	社会党	赤嶺 幸信	公明党	金城 宏		自由民主党	
浦添市	儀間 光男	自由民主党	照屋 政太郎	自由民主党	大田 昌知		自由民主党	
	宮城 健一	社会党	上原 亀一郎	共産党	瑞慶覧 長方		社会大衆党	
	渡名喜 藤子	新生クラブ	下地 常政	新生クラブ	宮城 清順	公明党		
那覇市	嘉数 昇明	自由民主党	糸満市	伊良皆 高吉(辞職2)	自由民主党	砂川 武雄	自由民主党	
	仲松 昌彦	自由民主党		本盛 茂	社会大衆党			

補欠選挙 昭和61年11月16日					
那覇市	松茂良 興辰	新生クラブ	石垣市	石垣 喜興	自由民主党

※辞職1:昭和60年9月21日辞職  
※辞職2:昭和61年2月20日辞職

第5回選出

(選挙日:昭和63年6月12日 任期:自昭和63年6月25日 至平成4年6月24日)

選挙区	氏名	会派	選挙区	氏名	会派	選挙区	氏名	会派
名護市	嘉数 知賢	自由民主党	那覇市	嘉数 昇明	自由民主党	国頭郡	喜久山 盛忠	自由民主党
	岸本 安神	社会大衆党		仲松 昌彦	自由民主党		崎浜 秀三	自由民主党
石川市	石川 修	社会大衆党		金城 重正	自由民主党		中頭郡	大城 秀昭
	具志川市	崎原 盛友		自由民主党	富里 政秋	共産党		村山 盛信
照屋 寛徳		社会党・護憲共同		外間 久子	共産党	平良 一男		自由民主党
沖縄市	西田 健次郎	自由民主党		宮良 作	共産党	島尻郡		伊波 栄徳
	照屋 忠英	自由民主党		岸本 忠三郎	社会党・護憲共同		新垣 善春	社会党・護憲共同
	嘉陽 宗儀	共産党		島袋 宗康	社会大衆党		喜納 昌春	社会大衆党
	中根 章	社会党・護憲共同		松茂良 興辰	新政クラブ		伊集 盛元	自由民主党
宜野湾市	志村 恵	自由民主党		高良 政彦	公明党	宮古郡	外間 盛善	自由民主党
	友寄 信助	社会党・護憲共同	白保 台一	公明党	親川 仁助		共産党	
浦添市	儀間 光男	自由民主党	上原 賢一	自由民主党	与那覇 盛男		新政クラブ	
	島袋 嘉盛	社会大衆党	上原 亀一郎	共産党	金城 繁正		新政クラブ	
	渡名喜 藤子	新政クラブ	下地 常政	新政クラブ	宮城 清順	公明党		
那覇市	西銘 恒三郎	自由民主党	糸満市	伊良皆 高吉	自由民主党	福里 一郎	自由民主党	
	比嘉 勝秀	自由民主党		本盛 茂	社会大衆党			

第6回選出 (選挙日:平成4年6月7日 任期:自平成4年6月25日 至平成8年6月24日)

選挙区	氏名	会派	選挙区	氏名	会派	選挙区	氏名	会派
名護市	嘉数 知賢	自由民主党	那覇市	糸数 慶子	社会大衆党	石垣市	上間 毅	社会大衆党
	玉城 義和	社会党・護憲共同		白保 台一(辞職1)	公明党	国頭郡	大城 秀昭	無所属
石川市	石川 修	社会大衆党		高良 政彦	改革沖縄		喜久山 盛忠	自由民主党
	具志川市	崎原 盛友		自由民主党	嘉数 昇明		自由民主党	崎浜 秀三
照屋 寛徳(辞職3)		社会党・護憲共同		平良 長政	社会党・護憲共同	平良 一男	自由民主党	
沖縄市	西田 健次郎(辞職2)	自由民主党		具志 孝助	新進党	中頭郡	喜納 昌春	社会大衆党
	中根 章	社会党・護憲共同		山川 勇	社会大衆党		伊波 栄徳	社会党・護憲共同
	高江洲 義政	自由民主党		仲松 昌彦(逝去)	自由民主党		新垣 善春	社会党・護憲共同
	太田 守昭	社会大衆党		宮良 作	共産党		村山 盛信	自由民主党
宜野湾市	友寄 信助	社会党・護憲共同		翁長 雄志	自由民主党	島尻郡	外間 盛善	新進党
	伊佐 吉秀	新進党	宮里 政秋	共産党	金城 繁正		政経クラブ	
	志村 恵	自由民主党	比嘉 勝秀	自由民主党	伊集 盛元		自由民主党	
浦添市	儀間 光男	自由民主党	新垣 哲司	新進党	大城 一馬		社会大衆党	
	宮城 健一	社会党・護憲共同	上原 賢一	自由民主党	仲里 利信		新進党	
那覇市	幸喜 勝	自由民主党	平良市	下地 常政	政経クラブ		平仲 善幸	社会党・護憲共同
	西銘 恒三郎	自由民主党	石垣市	伊良皆 高吉	自由民主党	福里 一郎	自由民主党	

補欠選挙 平成6年11月20日					※辞職1:平成5年7月4日辞職 ※辞職2:平成6年4月17日辞職 ※辞職3:平成7年7月4日辞職 ※逝去:平成8年1月4日				
沖縄市	仲村 清勇	社会党・護憲共同	那覇市	与座 嘉彦	改革沖縄				

第7回選出 (選挙日:平成8年6月9日 任期:自平成8年6月25日 至平成12年6月24日)

選挙区	氏名	会派	選挙区	氏名	会派	選挙区	氏名	会派
名護市	玉城 義和(辞職2)	社会民主党・護憲共同	那覇市	外間 久子	共産党	国頭郡	喜久山 盛忠	自由民主党
	嘉数 知賢(辞職1)	自由民主党		具志 孝助	自由民主党		大城 秀昭	結の会
石川市	石川 修	社会大衆党		翁長 雄志	自由民主党		中頭郡	渡久地 健
	具志川市	兼城 賢次		社会民主党・護憲共同	糸洲 朝則	公明党 沖縄県議団		宮平 永治
上原 政英		県民の会		高良 政彦	公明党 沖縄県議団	平敷 昌一		県民の会
沖縄市	西田 健次郎(辞職4)	自由民主党		平良 長政	社会民主党・護憲共同	喜納 昌春		社会大衆党
	嘉陽 宗儀	共産党		翁長 政俊	自由民主党	伊波 栄徳	社会民主党・護憲共同	
	小渡 亨	自由民主党		浦崎 唯昭	県民の会	上原 吉二	新進沖縄	
	大工廻 朝栄	自由民主党		嘉数 昇明	自由民主党	新垣 善春	社会民主党・護憲共同	
宜野湾市	伊波 洋一	結の会		西銘 恒三郎	無所属	島尻郡	金城 繁正	県民の会
	安次富 修	自由民主党	糸数 慶子	社会大衆党	平仲 善幸		県民の会	
浦添市	友寄 信助	社会民主党・護憲共同	新垣 哲司	新進沖縄	仲里 利信		自由民主党	
	宮城 國男	県民の会	上原 亀一郎	共産党	外間 盛善		新進沖縄	
那覇市	当山 全弘	社会大衆党	平良市	下地 学	結の会		新垣 米子	共産党
	幸喜 勝	県民の会	石垣市	伊良皆 高吉(辞職3)	自由民主党		大城 一馬	社会大衆党
	池間 淳	自由民主党		上間 毅	社会大衆党	島田 力	社会民主党・護憲共同	

補欠選挙 平成10年3月15日			補欠選挙 平成10年11月15日			※辞職1:平成8年10月8日辞職 ※辞職2:平成10年2月11日辞職 ※辞職3:平成10年2月21日辞職 ※辞職4:平成10年6月25日辞職		
名護市	玉城 義和	無所属	沖縄市	高江洲 義政	自由民主党			
	安里 進	自由民主党	石垣市	伊良皆 高吉	自由民主党			

第8回選出 (選挙日:平成12年6月11日 任期:自平成12年6月25日 至平成16年6月24日)

選挙区	氏名	会派	選挙区	氏名	会派	選挙区	氏名	会派
名護市	安里 進	自由民主党	那覇市	國場 幸之助(辞職3)	自由民主党	豊見城市	新垣 米子	日本共産党
	玉城 義和	無所属		西銘 恒三郎(辞職3)	自由民主党		金城 昌勝	自由民主党
石川市	伊波 常洋	自由民主党		糸洲 朝則	公明党・県民会議	国頭郡	渡久地 健(逝去2)	自由民主党
	具志川市	嘉陽 宗吉		自由民主党	平良 長政		護憲ネットワーク	比嘉 勝秀
兼城 賢次		護憲ネットワーク		高良 政彦	公明党・県民会議		小波津 浩利(逝去1)	自立21
沖縄市	金城 勉	公明党・県民会議		外間 久子	日本共産党		中頭郡	伊波 栄徳
	小渡 亨	自由民主党		翁長 政俊(辞職4)	自由民主党	宮平 永治		自由民主党
	新川 秀清	護憲ネットワーク		具志 孝助	自由民主党	上原 吉二(辞職3)		自由民主党
	高江洲 義政	自由民主党		浦崎 唯昭	県民の会	平敷 昌一		県民の会
宜野湾市	友寄 信助	護憲ネットワーク		糸数 慶子(辞職4)	社大・結連合	新里 米吉		護憲ネットワーク
	伊波 洋一(辞職2)	社大・結連合	宮里 政秋	日本共産党	喜納 昌春	社大・結連合		
浦添市	安次富 修(辞職1)	自由民主党	新垣 哲司	新進沖縄	島尻郡	外間 盛善	自由民主党	
	前島 明男	公明党・県民会議	玉城 ノブ子	日本共産党		仲里 利信	自由民主党	
	池間 淳	自由民主党	坂井 民二	自由民主党		大城 一馬	社大・結連合	
	当山 全弘	社大・結連合	伊良皆 高吉(辞職4)	自由民主党		平仲 善幸	県民の会	
	宮城 國男	県民の会	石垣市	高嶺 善伸	護憲ネットワーク	砂川 佳一	自由民主党	

補欠選挙 平成14年11月17日			補欠選挙 平成15年6月1日			補欠選挙 平成15年12月14日		
国頭郡	吉田 勝廣	県民の会	宜野湾市	安次富 修	自由民主党	那覇市	安慶田 光男	自由民主党
				渡嘉敷 喜代子	護憲ネットワーク		狩俣 信子	護憲ネットワーク

※「社大・結連合」は「沖縄社会大衆党・結の会連合」の略称である。 ※辞職1:平成15年3月31日辞職 ※辞職2:平成15年4月20日辞職 ※辞職3:平成15年10月28日辞職  
※辞職4:平成16年6月24日辞職 ※逝去1:平成14年7月4日 ※逝去2:平成15年12月1日

第9回選出 (選挙日:平成16年6月6日 任期:自平成16年6月25日 至平成20年6月24日)

選挙区	氏名	会派	選挙区	氏名	会派	選挙区	氏名	会派	
名護市	安里 進	自由民主党	那覇市	池間 淳	自由民主党	糸満市	新垣 哲司	自由民主党	
	玉城 義和	無所属		國場 幸之助	自由民主党		上原 賢一	自由民主党	
うるま市	伊波 常洋	自由民主党		上原 章	公明党・県民会議	宮古島市	奥平 一夫	社大・結連合	
	照屋 守之	自由民主党		糸洲 朝則	公明党・県民会議		砂川 佳一	自由民主党	
沖縄市	兼城 賢次	護憲ネットワーク		浦崎 唯昭	自由民主党	石垣市	高嶺 善伸	護憲ネットワーク	
	仲田 弘毅	自由民主党		具志 孝助	自由民主党		辻野 ヒロ子	自由民主党	
	新川 秀清	護憲ネットワーク		狩俣 信子	護憲ネットワーク		国頭郡	岸本 忠光	自由民主党
	嘉陽 宗儀	日本共産党		當間 盛夫	維新の会			吉田 勝廣	無所属
宜野湾市	小渡 亨	自由民主党		外間 久子	日本共産党	中頭郡	當山 弘	護憲ネットワーク	
	金城 勉	公明党・県民会議		比嘉 京子	社大・結連合		當山 眞市	公明党・県民会議	
浦添市	安次富 修(辞職1)	自由民主党	前田 政明	日本共産党	新里 米吉		護憲ネットワーク		
	渡嘉敷 喜代子	護憲ネットワーク	平良 長政	護憲ネットワーク	瑞慶覧 朝義		社大・結連合		
那覇市	呉屋 宏(辞職2)	維新の会	豊見城市	外間 盛善	自由民主党	島尻郡	喜納 昌春	社大・結連合	
	山内 未子	維新の会	浦崎 唯昭	護憲ネットワーク	新垣 良俊		自由民主党		
	前島 明男	公明党・県民会議	嶺井 光	自由民主党	仲里 利信		自由民主党		
	当山 全弘	社大・結連合	南城市	親川 盛一	自由民主党		内間 清六	公明党・県民会議	

補欠選挙 平成18年11月19日			※「社大・結連合」は「沖縄社会大衆党・結の会連合」の略称である。 ※辞職1:平成17年8月30日辞職 ※辞職2:平成19年7月3日辞職		
宜野湾市	佐喜真 淳	自由民主党			

第10回選出 (選挙日:平成20年6月8日 任期:自平成20年6月25日 至平成24年6月24日)

選挙区	氏名	会派	選挙区	氏名	会派	選挙区	氏名	会派
名護市	吉元 義彦	自由民主党	那覇市	赤嶺 昇	改革の会	糸満市	玉城 ノブ子	日本共産党
	玉城 義和	新政クラブ		池間 淳	自由民主党		新垣 哲司	自由民主党
うるま市	照屋 大河	社民・護憲ネット		上原 章	公明党・県民会議	宮古島市	座喜味 一幸	自由民主党
	山内 未子	新政クラブ		渡久地 修	日本共産党		奥平 一夫	社大・結
	仲田 弘毅	自由民主党		上里 直司	民主党	石垣市	辻野 ヒロ子	自由民主党
	照屋 守之	自由民主党		崎山 嗣幸	社民・護憲ネット		高嶺 善伸	社民・護憲ネット
沖縄市	桑江 朝千夫	自由民主党		前田 政明	日本共産党	国頭郡	平良 昭一	改革の会
	仲村 未央	社民・護憲ネット		比嘉 京子	社大・結		吉田 勝廣	無所属
	玉城 満	改革の会		糸洲 朝則	公明党・県民会議	中頭郡	中川 京貴	自由民主党
	金城 勉	公明党・県民会議		翁長 政俊	自由民主党		瑞慶覧 功	社大・結
嘉陽 宗儀	日本共産党	浦崎 唯昭	自由民主党	當山 眞市	公明党・県民会議			
佐喜真 淳(辞職1)	自由民主党	具志 孝助	自由民主党	仲宗根 悟	社民・護憲ネット			
宜野湾市	新垣 清涼	社大・結	當間 盛夫	改革の会	新里 米吉	社民・護憲ネット		
	渡嘉敷 喜代子	社民・護憲ネット	豊見城市	島袋 大	自由民主党	島尻郡	新垣 安弘	民主党
浦添市	西銘 純恵	日本共産党	南城市	当銘 勝雄	社民・護憲ネット		新垣 良俊	自由民主党
	前島 明男	公明党・県民会議		嶺井 光	自由民主党		大城 一馬	社大・結

※「社大・結」は「沖縄社会大衆党・結の会」の略称である。 ※辞職1:平成24年2月5日辞職